



## こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 22 年 10 月 30 日(土)  
上町自主防災訓練 防災セミナー 編

毎年秋に行われる「上町自主防災訓練 防災セミナー」が 10 月 30 日に開催されました。今年は 5 月にNHK東北スペシャル防災編で秋田県の代表として撮影依頼があり、安否確認はその時に実施したため、この日は講話と非常食づくりを行いました。

参加者は上町自治会はもちろんのこと、能代市の 267 全自治会に案内をし、男女共同参画推進委員や民生委員さんもお誘いし、60 人ほどの方々にご参加いただきました。

午前 10 時からの開会で、渡辺千明先生から趣旨説明を受けた後、昨年からお願ひしておりました早稲田大学理工学院社会科環境工学科・教授の濱田政則先生をお迎えし「1983 年日本海中部地震における能代の被害～教訓と備え～」についてのお話をお聞きました。先生は日本海中部地震の際、実際に能代を調査された貴重な方です。地盤被害を詳細に調査し、流動化のメカニズムを解明するなど、液状化に関する研究の第一人者でもあります。

ご講話の中では、能代市の地震直後の写真を使って液状化現象の怖さをお話下さり、航空写真により前山地区の地面が5メートルほど放射線状に動いていたとの報告に、参加者は異口同音に驚きの声を上げていました。1964 年に起きた新潟地震では分からなかったことが、この日本海中部地震以後、解明されたことはあまり知られておらず、大変貴重なお話を沢山お聞きすることができました。

地震や水害など災害時には工学や理学の専門家だけでなく、医療や情報科学などの参画や一般市民の連携が不可欠であり、公助、共助、自助の連携の大切さをお聞きし、「賢い市民にならなければ」と改めて痛感しました。

その後、昨年もお講話をお願いし、いつも私たちの活動にご支援いただいている、秋田高専の水田敏彦准教授に「知らないと 怖い じしん の はなし」をお聞きました。先生は秋田県で発生した古い地震の研究されており、県民にとって身近で大変興味深いお話ばかりでした。また、現在の取り組みとして、子ども向けに地震の絵本を制作されており、と



上町の防災訓練の前日、木高研で濱田先生の公開講演会が開催されました。ご演題が「日本海中部地震の地盤被害と液状化対策への木材の活用」であったためか、防災関係者のみならず木材・土木関係など多くの方々が来場されました。また、ご講演後には秋田では珍しいほど多くの質問がフロアからありました。



ご講演会前には佐々木先生と 3 人でかつての被災地・前山地区や地震で不同沈下したままの建物などを巡りました。



先生のお話は初めて聞くことばかりで参加者の興味もさらに高まり、ご退席間際まで次々と質問がありました。



## こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

っても可愛くて分かりやすい内容で、一家に1冊常備するべきでは……と思いました。

私は紙芝居が大好きなので、先生がお帰りになる際、あつかましく、紙芝居を作っていただけないものかをお願いをしちゃいました！ 今後がとても楽しみです。水田先生の演題のように、子ども達たちにも防災教育を積極的にしていくべきだと思います。共働きの多い昨今、一人の時に災害に遭遇することも多いと思われます。「自分の身は自分で守る」ことを大人も子供も一緒に学んで行きたいものです。

お二人の先生は超売れっ子の方々で、被災食も召し上がっていただけずにお帰りになり、とても残念でしたが、この年代でお二人のご講話をお聞きできるという贅沢な防災セミナーが開催できましたことに、心より感謝申し上げます。この企画も渡辺先生の人脈の賜ものです！ 毎年のことですが、有難うございました。

この度初めての試みとして、ハイゼックスシート(被災食袋)でホットケーキを作ってみました。すみれ会の相澤さんが試食を重ねて考案して下さったものですが、昔の蒸しパンと同様なものが、20分ほどで完成。とっても美味しかったです！！

これは、お腹がすいて、待てのきかない子どものおやつとしても充分活用できますね。ホットケーキミックスにチョコレートやレーズンを混ぜてもきっと美味しいと思います。喜ばれること間違いなしです。柔らかいので、高齢者にも適していると思います。

毎年新しい取り組みをすることは時間もコストもかかりますが、こうしてみんなで話し合い、知恵を活かすことも大切なことだと思います。もしもの際、毎年、繰り返す防災訓練や除排雪会議は必ず役に立つと思います。大変だと言っても1年に数回の集いの機会を作ることは、必要なことではないでしょうか。日本全国どこでも共通な高齢化・少子化の悩みからは逃れようがありません。みんな仲良く地域で生きて行きたいものです。(^\_^)

文：能登 祐子



今回の先生のお話は 1986年に秋田県の内陸で発生した陸羽地震の研究から得られた災害の教訓です。



学生さんとともに製作した地震防災の絵本の主人公は子どものナマハゲです。音声もついて動画にもなっていくとのこと、これからの展開が楽しみです。



袋の中身が違ってても段取りはいつもと同じ。要領よくできるようになりました。



熱が加わっている間は破裂が心配になるほど膨らみます(左)が、冷めるとどんどんしぼんでしまうので(右)、やはりできたてがお勧めです。



ジャムや餡んこをつけても美味しく、最初は半信半疑だった方々にも好評でした。被災食は本当に工夫次第ですね。





こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

上町自主防災・番外編

上町自治会で自主防災に取り組んで今年で6年になりますが、2年目からはのしろ白神ネットワークの支援(特に渡辺先生)をいただき、年々レベルアップをして参りました。現在は能代市やNHK等マスコミにも少しは評価していただけるようになりましたが、このほかに男女共同参画の視点からも防災の重要性、特に女性の参画が指摘され、今後の活動が期待されます。

この度のNHK東北スペシャルでの防災特集がご縁で、秋田支局から取材にいらしたカメラマンが平山計量店のシャッターアートに感動し、ニュース番組を作りたいという要望があり、我が家のシャッターを提供しました。それが、最終的には全国版での放映となりました。カメラマンさん達は毎日のように上町に通い、すみれ会もおもてなしに徹しました。

平山計量店は3月に東大の堀先生がアドバイスして下さったことを即実践!! たった1年の間に大きな飛躍をとげました。上町やお店のPRにと始めたブログ「はかり屋はるちゃんの歳時記」には毎日100人以上のアクセスがあるそうです。お店のウィンドウは四季折々に平山家のお宝などが展示され、街ゆく人々の楽しみの一つとなっています。上町自治会に女性部・すみれ会を作り8年が過ぎましたが、まちづくりには自分が愛する地域の情報収集に心がけ、地に足を着けた取り組みが一番大切であることを実感する毎日です。

この実践には能代の中に居る人だけでなく、堀先生や渡辺先生のような外部の達人が存在し、知恵を授けて下さる方が必要であり、毎年いろんな方々からご講演をいただく「のしろ市民まちづくりフォーラム」は貴重な学びの場となっています。我々は学ぶことを怠らず、常にアンテナを高くして、前を向いて歩むことが大切なのだと思改めて感じています。

NHKのイケメンカメラマンさん達の上町の印象は「このまちだけは熱い熱気を感じます!」「みんな仲良しで温かいですね」「今度妻を連れて遊びにきます!」と言って帰られました。まだ再会はできておりませんが、好印象を持っていたけただけですので善かったで~す(\*^\_^\*)。この繋がりも、いつか何かに役だつことを願ってやみません。

文: 能登 祐子



防災特集で熱心に取材をして下さったNHK秋田放送局のカメラマンの方々。



シャッターアート製作者の藤田さん(中央)へのインタビュー取材もありました。



平山さんは「音声さん」にも挑戦しました。



下絵から完成まで全てが映像になりました。次はNスペか?